

第2章

<社会安全フォーラム>

オンラインカジノをめぐる現状と対策

＜社会安全フォーラム＞

オンラインカジノをめぐる現状と対策

警察政策研究センター

警察政策研究センターは、令和7年3月14日、公益財団法人日工組社会安全研究財団との共催、(公財)公共政策調査会、警察政策学会及び(一財)警察大学校学友会の後援により、社会安全フォーラム「オンラインカジノをめぐる現状と対策」を開催した。また、同年3月24日から6月23日までの間、オンデマンドによる配信を実施した。

本フォーラムでは、一瀬圭一警察政策研究センター所長による開会挨拶に続き、有識者・実務家5名による講演が行われた。講演者及び講演タイトルは、次のとおりである(肩書は当時)。

- 警察庁生活安全局保安課風俗環境対策室長 植木百合子
基調講演「オンラインカジノを巡る現状と対策」
- 東京大学大学院法学政治学研究科教授 橋爪 隆
講演①「オンラインカジノと賭博罪」
- 淑徳大学コミュニティ政策学部兼任講師・日工組社会安全研究財団主任研究員 佐藤 麻衣
講演②「海外のオンラインカジノ対策」
- LINE ヤフー株式会社検索カンパニー検索統括本部
企画デザイン本部トラスト&セーフティ室 増田 律子
講演③「Yahoo!検索におけるオンラインカジノに関する取組について」
- 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長 松下 幸生
講演④「医学的見地からのギャンブル依存について」

本フォーラムには、警察関係者、企業関係者、大学関係者、他省庁関係者、報道関係者等81名が出席した。

以下、各講演者の講演内容及びパネルディスカッションの内容を掲載する。

開 会 挨 拶

警察政策研究センター所長

一 瀬 圭 一

本日は、公益財団法人日工組社会安全研究財団との共催による、社会安全フォーラム「オンラインカジノをめぐる現状と対策」に御参加いただき、感謝する。主催者を代表して、一言挨拶を申し上げます。

近年、いわゆる「オンラインカジノ」については、日本からのアクセス件数の増加やギャンブル依存の問題等が強く指摘され、深刻な社会問題と化しており、令和4年12月には、「「世界一安全な日本」創造戦略 2022」において、「社会の安全安心を脅かす各種事案の対策の推進」に関する項目として、オンラインカジノに係る賭博事犯の取締り及び犯罪収益の剥奪の推進並びにその違法性の周知等について明記され閣議決定された。

こうした中、警察では、オンラインカジノを含むオンライン上で行われる賭博事犯について、賭客のみならず、決済代行業者やアフィリエイト等運営に関与する者を検挙するなど、厳正な取締りを推進するとともに、消費者庁と連携したポスターや SNS を活用した広報啓発を行うなど、オンラインカジノの違法性を周知する取組や関係省庁と連携した取組を進めており、また、「オンラインカジノの実態把握のための調査研究結果」を公表したところである。

一方、本年2月28日には、総務省から「オンラインカジノサイトに関するブロッキングを含むアクセス抑止のあり方について検討の場の立ち上げに向けた準備を進めている」旨の国会答弁がなされ、今、オンラインカジノ問題に対する社会の関心は大きく高まっている。

本フォーラムでは、オンラインカジノを巡る情勢と警察の取組、刑法上の賭博罪の成否、諸外国における対策、インターネット事業者の取組、医学的見地からのギャンブル依存などオンラインカジノ問題を巡る現状と課題を取り上げ、今後のオンラインカジノ対策について議論したい。

本日は、

刑法が御専門の東京大学大学院法学政治学研究科教授の橋爪隆様

淑徳大学コミュニティ政策学部兼任講師で公益財団法人日工組社会安全研究財団主任研究員の佐藤麻衣様

LINE ヤフー株式会社 検索カンパニー検索統括本部 企画デザイン本部 トラスト&セーフティ室の増田律子様

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長の松下幸生様

警察庁風俗環境対策室長の植木百合子様

をお迎えし、それぞれの専門的な立場から御講演をいただいた後、講演者によるパネルディスカッションを行う。

本フォーラムが、オンラインカジノを巡る現状と課題に対する理解の深化、今後の官民による対策推進の一助となれば幸いである。

結びに、本日御後援いただいた公益財団法人・公共政策調査会、警察政策学会及び一般財団法人・警察大学校学友会の皆様に心より感謝を申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。